

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月6日

【評価実施概要】

事業所番号	0175000686		
法人名	有限会社 ハピィケア		
事業所名	グループホーム 水色の詩		
所在地	北海道北見市幸町4丁目1番25号 (電話) 0157-32-8301		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月1日	評価確定日	平成22年3月23日

【情報提供票より】(平成22年1月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年4月29日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	5人, 非常勤 13人, 常勤換算 12.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4階建ての 1~4階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500円	その他の経費(月額)	17,760~21,960円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,153円			

(4) 利用者の概要(1月31日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	5名	要介護2	3名		
要介護3	8名	要介護4	2名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 84歳	最低	62歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北見赤十字病院 金山歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは日頃のアクティビティーに力を入れ、ホーム内ではゲームや折り紙、絵手紙、大人のぬりえ等を行い、日常の散歩や近郊へのドライブなどの外出機会や年間を通じて行事も多く、春には、芝桜公園やチューリップ公園、花見、初夏にはふき採り、湖へのあさり採り、秋には、紅葉狩りやかぶ・大根の収穫、日帰りの温泉ツアー、秋祭りなど積極的に外出しています。又、風雪太鼓や大正琴、日本舞踊、幼稚園児の定期的な訪問や中学生の体験学習やボランティアでの訪問があります。管理者、職員は利用者、家族との信頼関係を第一に考え、ゆっくりと接し、手を取り合って、笑顔で毎日を過ごせるように思いを共有して取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善点は、特にありませんでした。今後も現在の状態を維持して、更に研鑽を積んでケアの質の向上に取り組んで戴くことを期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、ユニットのリーダーを中心に職員全員で行うことで、サービスの質の向上に努めています。外部評価の結果は、職員ミーティングや運営推進会議の際に報告し、結果については、真摯に受け止め、全職員で話し合い具体的な改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、おおむね定期的に開催されています。主な議題については 運営理念について 介護と医療の連携について 防災対策・避難訓練について 外部評価の評価結果の報告 地域ボランティアの方々との交流について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族が来訪された際に利用者の生活の様子や健康状態などを伝え、状態変化については、都度電話連絡で報告しています。毎月一人ひとりの支援経過報告書を作成し、領収書のコピーと金銭出納帳や行事の際に撮った写真も同封して送付しています。又、来訪時に気軽に相談しやすい雰囲気作りを心掛け、要望があれば、速やかに話し合い、結果を家族に報告しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	毎年、冬あか清掃などの地域活動への参加や日常の散歩等での挨拶や利用者と一緒に回覧板を持って行くなど地域の方々との交流を図っています。又、日本舞踊の会や絵手紙の会などのボランティアの来訪や幼稚園児の定期的な来訪や中学生の体験学習などで地元の人々と交流することに努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域社会のとの関わりを積極的に支援し、喜びと実感のある生活の実現を目指します。」として、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げ実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の実践に向けて、ユニット毎にミーティングで話し合っ理解を深めており、理念に添った利用者との接し方や、声かけを実践している。又、利用者が主体となった参加して楽しんで戴けるような行事を企画して実行している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎年、冬あか清掃などの地域活動への参加や日常の散歩等での挨拶や利用者と一緒に回覧板を持って行くなど地域の方々との交流を図っている。日本舞踊の会や絵手紙の会などのボランティアの来訪や幼稚園児の定期的な来訪や中学生の体験学習などで地元の人々と交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、ユニットのリーダーを中心に職員全員で行うことで、サービスの質の向上に努めている。外部評価の結果は、職員ミーティングや運営推進会議の際に報告し、結果については、真摯に受け止め、全職員で話し合い具体的な改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>今年度は、運営推進会議はおおむね定期的に開催されている。メンバーは利用者家族、地域住民、包括支援センター職員、管理者及び職員で構成され、外部評価の結果や地域との交流についてなどが話し合われ、具体的に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の福祉課の担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、地域ケア会議に参加し、市が行う研修会にも積極的に参加している。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族が来訪された際に利用者の生活の様子や健康状態などを伝え、状態変化については、その都度電話連絡で報告している。又、毎月一人ひとりの支援経過報告書を作成し、領収書のコピーと金銭出納帳や行事の際に撮った写真も同封して送付している。</p>		<p>今後は、定期的に利用者の日常の生活ぶりや行事の案内、スタッフの異動について写真を交えた内容の通信を計画している。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>外部への意見、不満、苦情の窓口を重要事項説明書に記載しており、ホーム内にも掲示している。家族の来訪時に、気軽に相談しやすい雰囲気作りを心掛けており、意見、要望があれば、速やかにユニットで話し合い、結果を家族に報告している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員と利用者の信頼関係を大切に考えて、馴染みの職員が長期間に渡って勤められるように、各職員の勤務条件についての希望を聞き離職を必要最小限に抑える努力をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修会や勉強会の案内があった場合は職員全員に参加の希望を募り、希望者には勤務を変更するなど参加出来るように支援しており、ミーティングで研修報告会を実施して全職員で情報を共有している。又、ホーム内でも事例検討会や意見交換して質の高いケアが実践出来るように取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市や協議会等の勉強会や研修会に参加したり他のグループホームの運営推進会議に参加するなどして交流に努めている。又、包括支援センターの交流会にも参加し情報交換に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が少しでも安心して過ごせるように、事前に家族や本人にホームを見学して貰うように取り組んでいる。利用開始後、家族と相談しながら、しばらくは利用者が安心して暮らせるように家族の面会を多くして貰うなど最大限の配慮をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の希望や意向を把握し、日常の家事を一緒に行い、調理法を教わりながら利用者に頼る事も大切にして支え合う関係を築いている。又、季節に応じて思いに添いながら、地域の清掃活動や畑作りや山菜採り、畑作業、雪かきなど一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は、日常の関わりの中で、会話の内容や表情から、希望や意向の把握に努め、全職員で共有している。又、運営者は利用者の希望に添った暮らしが実現出来るように、必要な道具、材料の用意や、環境の整備に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の暮らしの中で、利用者それぞれの希望の把握と、状態の理解に努め、それをもとに、職員全員と話し合いを行い、介護支援専門員の適切な監理の下、家族と相談してケアプランに反映させている。又、ご家族や関係者からの意見や要望を真摯に受け止め、介護計画を作成している。</p>		<p>利用者の希望や意向の把握と状態の理解を深めるために、毎月、担当を変え、全職員が利用者一人ひとりの気持ちや体調の変化を詳しく知る機会を作り、全員で情報の共有を図っている。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理の下に、本人、家族、必要な関係者と話し合い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。又、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族から希望や要望があれば、送迎を含めた受診介助の支援を行っている。又、散歩を含めた行きたい所への外出や買い物の支援など可能な限り実現に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者や家族が希望する医療機関をかかりつけ医として、家族の希望に応じ看護師を兼務する管理者が受診対応を行っている。受診の際の医師や看護師からの健康管理や処置についての助言は職員間で情報を共有し、結果をご家族に報告している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期のあり方について契約書の中に記載し同意を得ている。早い段階からグループホームで出来ることの限界を本人や家族に伝え、理解して貰うと共に、かかりつけ医に相談し協力を得ながら、利用者や本人にとって最良の終末期の過ごし方を検討し、職員全員で共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者のプライドやプライバシーを損ねる声かけや対応のないようミーティングで話し合っている。又、記録書類の扱いについて、個人情報に対する高い意識を持ち十分に配慮しており、守秘義務の徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>全職員が一人ひとりの気持ちを把握し、職員間で共有している。利用者の希望や思いを尊重し、買い物や散歩、ドライブ等の外出の支援、調理や食事の後片付け、掃除等の役割事への支援、絵手紙やぬり絵等の趣味への支援を希望やペースに沿って支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、下ごしらえ、味付け、盛り付け、配膳して戴いており、後片付けも利用者を中心に一緒に行っている。献立は、利用者が主体となって楽しく作れるようなメニューを多く取り入れ好みや体調に合わせた食事を提供している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低、2回以上を基本に利用者の入浴習慣や体調、希望によっては一日置きに入浴出来るように柔軟に対応している。又、入浴を拒否される利用者には、声かけの工夫や、他の職員に対応を代わってもらう等、臨機応変に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりに役割事での活躍の場面を持てるように、畑作業や冬には雪かき、ホーム内では調理や食事の後片付け、漬物漬け、裁縫が得意な方には布巾作りなどを一緒に行い、利用者が喜びと自信を持って日々を過ごして戴けるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所は積極的に外出する行事や機会を設け、買い物や近くのつつじ公園や小公園への散歩、個別にデパートや図書館、博物館見学や外食を兼ねたカラオケ、地域のお祭りの見学など希望に応じて支援をしている。		近郊の観光地へのドライブや日帰りの温泉、毎年、郊外の山へふきなどの山菜採り、畑でのかぶや大根の収穫、能取湖へあさり採りなど利用者の希望に応じて戸外に出かけられるよう支援している。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者の外出傾向の把握に努め、利用者が外出を希望する際は、いつでも職員が同行出来るように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者を設置し、緊急連絡網や火災等の緊急時対応マニュアルを作成している。又、年2回、消防署の協力の下、火災通報装置を実際に使って実施しており、又、夜間を想定した避難訓練も実施している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>おおよそのカロリーや栄養バランスが把握されており、一人ひとりの健康状態に合わせた量やきざみ食、おかゆ等、本人が食べやすいように調理の工夫がなされている。又、具体的な食事摂取量、水分摂取量がチェックされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間には、太陽光を多く取り入れるように心掛け、室温、湿度も過ごしやすい状態になるように配慮している。又、人形やぬいぐるみを飾り、利用者と一緒に作った季節が感じられる装飾を行い、利用者の作品や行事の写真を掲示している。居間からは、ホームの畑が見え季節感が感じられる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していた使い慣れた馴染みの家具や、仏壇、ご家族の写真等が持ち込まれ、安全に配慮しながら、本人が居心地よく過ごせるように自由に配置して載っている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。